

神奈川転倒・腰痛災害防止大会

神奈川労働局、横浜市内の4労働基準監督署、神奈川産業保健総合支援センターでは、令和6年2月5日(月)に横浜市西区の西公会堂において、「神奈川転倒・腰痛災害防止大会」を開催しました。

この大会は、近年増加している「転倒」及び「腰痛」による労働災害を減少させる目的で開催したものです。

当日はあいにくの雪模様でしたが、約140名の参加者が集いました。



横浜市西公会堂

神奈川労働局から

冒頭、神奈川労働局の加納労働基準部長から、近年、労働災害が増加しており、その要因として転倒災害と腰痛災害の増加があるため、その削減が喫緊の課題となっていることを説明し、本大会を契機に一層の転倒災害、腰痛災害の防止への取り組みを要請しました。



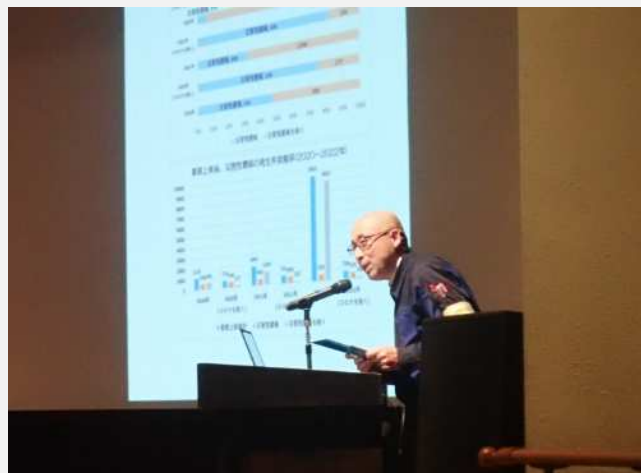
神奈川労働局 安全課担当官

続いて神奈川労働局安全課担当官から、転倒災害の発生状況を説明し、年齢が高くなるにつれ転倒災害が増えていること、特に50歳以上の女性労働者に顕著であり、多くが骨折していることなどを説明しました。

また、神奈川労働局健康課担当官からは、業務上疾病の8割が災害性腰痛であり、その件数は近年高止まり傾向にあることなどを説明しました。



神奈川労働局 労働基準部長 加納圭吾



神奈川労働局 健康課担当官

～ 事例紹介 ～

社会福祉法人同塵会
特別養護老人ホーム 日野サザンポート



社会福祉法人同塵会特別養護老人ホーム日野サザンポートの綿貫氏から、「腰痛災害防止への取り組み ～ポジティブイメージへ～」として、同施設での取り組みについての事例発表がなされました。

同施設では腰痛予防のため「これだけ体操」を取り入れたものの、ネガティブイメージであったため、ポジティブイメージとするため、「コシータ（腰痛）to コシラック（腰楽）」というプロジェクト名をつけて全職員で取り組んだところ、腰痛による欠勤者、労働災害対象者がゼロとなり、現在も継続中とのことでした。

また、同施設では神奈川産業保健総合支援センターの「健康応援！ゼロ災 無料出張サービス」も受けているとのことであり、同センターの川村氏より、同サービスの説明もなされました。



社会福祉法人同塵会
特別養護老人ホーム
日野サザンポート
発表者：
綿貫浩平 氏



神奈川産業保健
総合支援センター
川村相談員（左）から
の「健康応援！ゼロ災 無
料出張サービス」の説明

～ 講演その1 ～

職場における腰痛・転倒予防 ～腰痛、転び易さの対策と骨を強くする運動について～
関東労災病院 治療就労両立支援センター



関東労災病院 治療就労両立支援センター 講演者：主任理学療法士 内間康知氏

講演の第1部では、関東労災病院治療就労両立支援センターの内間主任理学療法士より、主に運動面から骨を強くし、筋力をつけて、転倒・腰痛を防いだり、備える方法等について、講演や運動の実演などがなされました。

特に筋力に関しては、「使うか、さもなくば失う」として、使い続けることの意義を説明し、始業前の体操の導入を呼びかけました。



～ 講演その2 ～

毎日の食事で骨粗鬆症に備える ～骨を強くする栄養と食事について～
関東労災病院 治療就労両立支援センター



関東労災病院 治療就労両立支援センター 講演者：管理栄養士 荒木由美子氏

講演の第2部では、関東労災病院治療就労両立支援センターの荒木管理栄養士より、主に栄養・食事面から骨を強くし、転倒を防ぐ・備える方法等について、講演がなされました。

骨形成に大事な栄養素はカルシウム、たんぱく質、ビタミンD、ビタミンKなどがありますが、特にカルシウムは全年代の男女で摂取量が不足しているため、効果的な摂取（低脂肪乳、納豆、小松菜、サバ水煮缶がよい）についての説明がありました。

閉会挨拶



横浜北労働基準監督署 署長 大屋季之

最後に会場（横浜市西公会堂）を管轄する横浜北労働基準監督署の大屋署長より「今回の講演などを活かしてそれぞれの事業場で転倒・腰痛防止に努めてほしい。」として、閉会のあいさつが行われました。

番外編

～骨密度測定体験会～



骨密度測定体験の様子

大会開催前に関東労災病院治療就労両立支援センターによる骨密度測定体験が行われました。

神奈川県労働局及び労働基準監督署では、今後も随時、転倒や腰痛も含めた災害防止に関する説明会などを実施していく予定です。

説明会の予定は「労働局・労働基準監督署受付サイト」に掲載されますので、ご確認をお願いいたします。



労働局・労働基準監督署説明会受付サイト

また、神奈川県労働局HPには転倒災害防止の事例集なども掲載されておりますので、ぜひ災害防止にお役立てください。

神奈川県労働局安全衛生関係HP



問い合わせ先

神奈川県労働局労働基準部

電話：045-211-7352（安全課）

電話：045-211-7353（健康課）